

2008年度大学入試センター試験概況分析

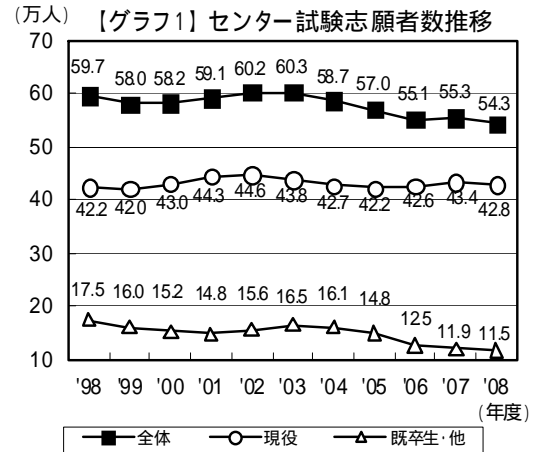
河合塾

センター試験志願者数は約1万人減 現役生、既卒生ともに減少

今年の大学入試センター試験(以下、センター試験)は1月19・20日の両日に全国736の試験会場で実施された。志願者数は昨年より約1万人減の543,385人(前年比98.2%)であった【グラフ1】。

内訳をみていくと、現役生が428,013人(昨年434,316人)で、6,303人減、高等学校等卒業見込者(既卒生)が115,372人(昨年119,036人)で、3,664人減といずれも減少した。

今春の高等学校新規卒業者数は109万3千人で昨年より約5万5千人減(前年比95.2%)となる見込みである。しかし、センター試験の現役生志願者数は前年比98.5%と減少率は小幅に留まった。この結果、センター試験導入以降上昇を続けている現役志願率(センター試験志願者数/高等学校新規卒業者数)は、昨年の37.8%から1.4ポイント上昇し過去最高の39.2%となった。



大学入試センター資料より

3科目受験者が増加 再試験受験者は過去最多の104人

次に受験状況をみてみよう。【表2】は大学入試センターから公表されたセンター試験の受験者数をまとめたものである。センター試験の受験者数は昨年より6,885人減の504,387人で、志願者数に対する受験率は92.8%と昨年の92.4%から上昇した。

【表3】は、受験科目数別の受験者数である。国立大7科目化に伴い、7科目以上の受験者の割合が増加していたが、昨年来その伸びは止まっている。7科目以上の受験者の内訳をみると、8・9科目の受験者が減少し、7科目の受験者が増加している。8・9科目の減少は、「文系生の理科2科目受験」「理系生の公民受験」が減少し、必要な教科・科目に的を絞って受験をした生徒が増えたことが考えられる。

一方、3科目受験者は増加傾向にあり、今年度も昨年からさらに約3千人増加している。3科目受験者の内訳をセンター・リサーチ(河合塾主催 センター試験自己採点集計)の集計でみると、英・国・地公の受験者の増加が目立っている。3教科受験者の志望校の記入状況をみると、9割が国公立大の志望記入がない私立大専願者であることから、私立大でのセンター試験利用方式の拡充による影響がうかがえる。

なお、センター試験の運営にあたっては、試験監督者が指示を誤ったり、会場の照明が消えたりするなどのトラブルにより、再試験の対象者が過去最多の1,213人となった。そのうち実際に再試験を受験した者は104人で、これまで最も多かった05年の50人を大きく上回った。

【表2】センター試験教科別受験者数

	'07年度		'08年度		前年差(人)
	受験者数	率	受験者数	率	
全体	511,272	92.4%	504,387	92.8%	-6,885
外国語(筆記)	504,892	98.8%	498,075	98.7%	-6,817
英語リスニング	497,654	97.3%	491,056	97.4%	-6,598
数学	368,958	72.2%	362,058	71.8%	-6,900
数学	330,424	64.6%	328,065	65.0%	-2,359
国語	487,538	95.4%	481,415	95.4%	-6,123
理科	199,411	39.0%	194,432	38.5%	-4,979
理科	238,866	46.7%	233,491	46.3%	-5,375
理科	168,883	33.0%	169,132	33.5%	249
地歴	360,950	70.6%	357,434	70.9%	-3,516
公民	322,473	63.1%	306,497	60.8%	-15,976

大学入試センター資料より

上記数には、再試験受験者を含む。理科は同時時間帯で比較率は全受験者数に占める割合

【表3】センター試験受験科目数別受験者数

受験科目数	'07年度		'08年度		前年差(人)
	受験者数	率	受験者数	率	
9科目	21,435	4.2%	20,234	4.0%	-1,201
8科目	102,593	20.1%	95,083	18.9%	-7,510
7科目	166,686	32.6%	171,935	34.1%	5,249
6科目	19,436	3.8%	18,676	3.7%	-760
5科目	25,600	5.0%	24,418	4.8%	-1,182
4科目	52,637	10.3%	48,935	9.7%	-3,702
3科目	104,172	20.4%	107,119	21.2%	2,947
2科目	15,558	3.0%	15,076	3.0%	-482
1科目	3,155	0.6%	2,911	0.6%	-244
合計	511,272	-	504,387	-	-6,885

平均受験科目数	5.83	5.81
---------	------	------

大学入試センター資料より

率は受験者合計に対する割合

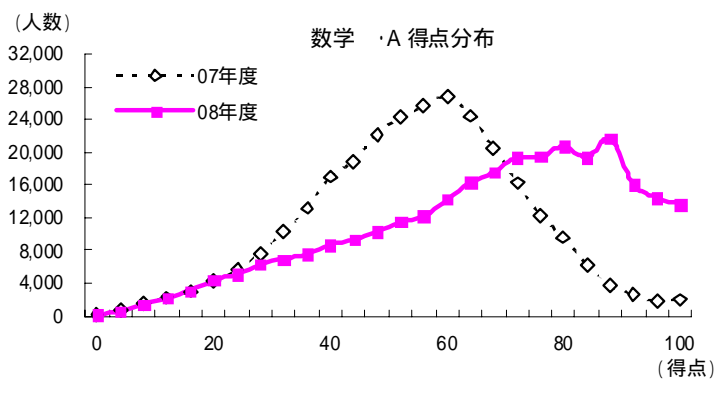
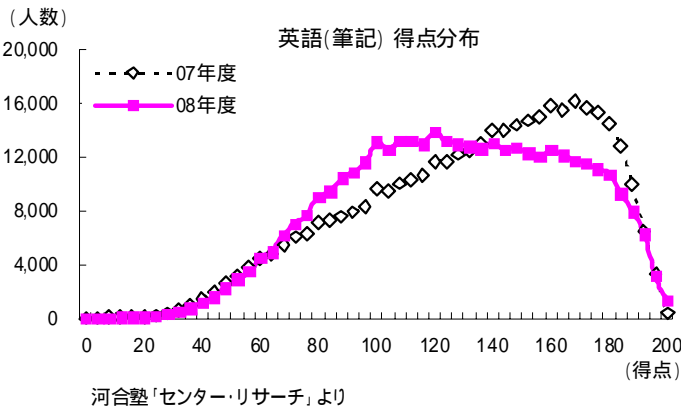
**国語・数学・現社で大きく平均点が上昇
全体的にやや高めの平均点に**

【表4】は大学入試センターが公表した各科目の平均点である。昨年は多くの科目で平均点がダウンしたのに対し、今年を受験者の多い科目で平均点のアップが目立った。

主要科目では、昨年大きく平均点が下がった数学・A(12点アップ)と国語(11点アップ)で平均点が大幅に上昇した。とくに数学・Aは第2問の2次関数と第3問の図形が易化して、満点をとれた受験生も多かったと推測される。一方、2年連続で平均点が上昇していた英語は、筆記で6点、リスニングで3点平均点がダウンした。

【グラフ5】はセンター・リサーチにおける数学・Aと英語の受験者の得点分布である。数学・Aでは分布のピークが90点付近と高得点層が非常に厚く、分布が全体に右寄りになっていることが分かる。英語(筆記)では第5問・第6問の出題形式・傾向が変化し、これに対応できた生徒とできなかった生徒で差がついたようである。分布をみると上位層が減少し、100~180点でなだらかな山を形成している。

【グラフ5】センター・リサーチ 英語、数学・Aの得点分布



【表4】センター試験 教科・科目別平均点・受験者数(本試験)

教科・科目名	平均点			受験者数			
	'07年度	'08年度	差	'07年度	'08年度	差	
外国語 英語	131.08	125.26	-5.82	503,823	497,101	-6,722	
	リスニングテスト	32.47	29.45	-3.02	497,530	490,853	-6,677
数学	44.10	47.51	3.41	15,308	11,765	-3,543	
	数学 A	54.06	66.31	12.25	353,545	350,198	-3,347
数学	30.73	30.25	-0.48	11,419	8,919	-2,500	
	数学 B	48.94	51.01	2.07	316,968	317,103	135
国語	109.95	121.64	11.69	487,424	481,315	-6,109	
理科	理科総合A	57.05	48.00	-9.05	38,799	33,472	-5,327
	理科総合B	62.35	61.31	-1.04	19,345	17,614	-1,731
	物理	64.42	64.55	0.13	141,274	142,233	959
	化学	61.35	64.21	2.86	200,001	199,951	-50
	生物	67.04	57.64	-9.40	180,010	176,766	-3,244
	地学	62.42	59.68	-2.74	27,561	26,841	-720
地歴	世界史A	47.35	49.28	1.93	2,120	2,164	44
	世界史B	67.75	58.98	-8.77	91,619	93,928	2,309
	日本史A	51.53	55.95	4.42	4,176	4,260	84
	日本史B	67.02	64.27	-2.75	147,333	143,676	-3,657
	地理A	53.91	56.83	2.92	6,818	5,811	-1,007
地理B	58.41	66.36	7.95	108,798	107,519	-1,279	
公民	現代社会	50.31	60.55	10.24	207,907	174,686	-33,221
	倫理	69.66	67.58	-2.08	44,442	51,134	6,692
	政治経済	64.41	63.73	-0.68	70,043	80,598	10,555

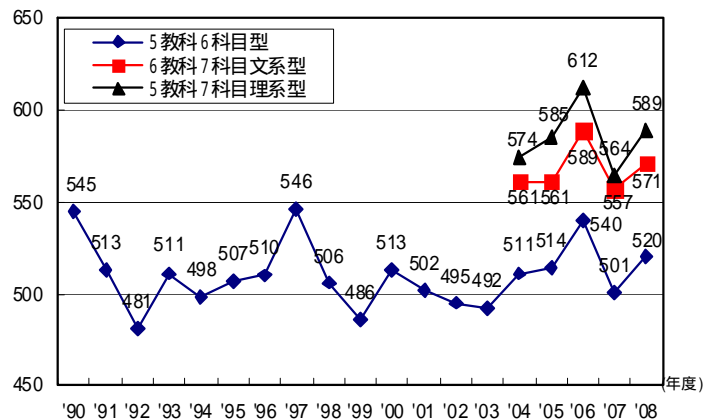
大学入試センター資料より

理科・地歴B・公民は各教科内での科目間の平均点格差が狭まった。理科は、物理・化学を除く科目で平均点が下がった。なかでも昨年やや高めの平均点であった生物は、実験の文章やデータ量が増加した影響で難化し、9点ダウンして57.64点となった。地歴は地理Bが8点上昇して地歴のなかで最も平均点が高くなった。公民は、昨年大きく平均点が下がった現代社会が10点アップし60.55点となった。

**理系受験生の平均点が大きく上昇
6 - 7文系型は+14点、5 - 7理系型は+25点**

【グラフ6】はセンター試験の総合型の平均点推移である(いずれも河合塾推定)。6教科7科目文系型(900点満点)は、14点アップの571点、5教科7科目理系型(900点満点)では25点アップの589点となった。とくに理系では理系受験者の多い数学・Aと地理Bの平均点アップの影響で、理系の得点の伸びが大きくなり、文系と理系の平均点差が拡大した。また、多くの受験生が共通して受験する5教科6科目型(800点満点)の平均点では昨年より19点アップの520点と推定している。

【グラフ6】センター試験 総合型平均点推移



河合塾推定
6教科7科目文系型: 英・数(2)・国・理(1)・地(1)・公(1)(900点満点)
5教科7科目理系型: 英・数(2)・国・理(2)・地公(1)(900点満点)
5教科6科目型: 英・数(2)・国・理(1)・地公(1)(7科目型生を含む)(800点満点)
英語は筆記+リスニングの250点を200点に換算して集計